

| テーマ |

クリエイティブ・マインド

—アート、デザインの境界をこえて羽ばたいた仕事の核心にあるもの

| 講師 |

小池 一子

Kazuko Koike

クリエイティブ・ディレクター／佐賀町アーカイブ主宰
武蔵野美術大学名誉教授



OPEN COLLEGE vol.1 | 主催 | 一般社団法人 東京建築士会

銀座建築デザイン大学 vol.1

東京建築士会では、建築情報を提供しながら建築士制度の普及に努めています。その一環として、様々な視点から文化・教養・技術面での事業を企画しており、「銀座建築デザイン大学」と題した連続講座を開催しています。今回はクリエイティブ・ディレクター、小池一子氏を講師にお迎えします。1970年代から第一線で活動し続ける小池氏の仕事は、アート・デザイン・建築・ファッション・音楽・演劇など、常に領域を超えてグローバルな視点で展開しています。現在の状況を受けて、大事なものは「一人ひとりがクリエイティブで居ること」と、小池氏は話します。新鮮なテーマで時間と空間を編集するユニークな創造力は、こうした現在も世界に向けて発信されています。時代を鋭く見据える、その核心にある考え方についてご講演いただきます。

2020年9月1日(火)

イトーキ東京イノベーションセンター SYNQA [2F]

| 時間 | 18:30 ~ 20:30

| 参加費 | 本会正会員・準会員 2000円 / 一般 3000円 / 学生 500円 (税込 / 参加費当日払)

| 定員 | 50名 (申込先着順) ※ソーシャルディスタンスに配慮した座席配置となっております。

| CPD | 2 単位

| コーディネーター | 降旗千賀子 (& 4 + do キュレーター)

| 企画 | 東京建築士会 事業委員会

| 協力 | 株式会社 イトーキ、株式会社 総合資格

佐賀町エキジビット・スペース / Photo: Kozo Miyoshi

PROFILE



小池 一子

こいけ かずこ

●1970年代～新しい視点から衣裳の歴史を紐解く「現代衣服の源流展」(1975年 / 京都国立近代美術館)の企画実施をはじめ衣服文化に関わる企画実施、執筆多数。

●1980年代～90年代「無印良品」創設に携わり、以来アドバイザーボードを務める。オルタナティブ・スペース「佐賀町エキジビット・スペース」を創設・主宰し、多くの現代美術家を国内外に紹介(1983年～2000年)。現在、この活動は「佐賀町アーカイブ」の運営に引き継がれている(2011年～)。

●2000年代 ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展日本館「少女都市」(2000年)、「田中一光とデザインの前後左右」(2012年 / 21_21 DESIGN SIGHT)、十和田市現代美術館館長を務め(2016年～2020年)、「On the beach ヨーガン レール 海からのメッセージ」(2016年)、「横尾忠則 十和田ロマン展 POP IT ALL」(2017年)などの展覧会を企画、ディレクションを手がける。今秋、群馬県立近代美術館で、「佐賀町エキジビット・スペース 1983-2000 現代美術の定点観測」の開催に向け、鋭意準備中。

◎著作—『空間のアウラ』(1992年 / 白水社)、『イッセイさんはどこから来たの? 三宅一生の人と仕事』(2017年 / HeHe)、訳書『アイリーン・グレイ』(新版 2017年 / みすず書房)

◎受賞—エイボン女性年度賞(2017年)、文化庁メディア芸術祭功労賞受賞(2019年)

ACCESS

